

みさとまちづくり

第13号

令和2年2月28日発行
三里まちづくり協議会
世帯数 6,055戸
人口 13,742人

令和二年を迎えて



三里まちづくり協議会会長

瀬瀬 晴美

地域の皆様、日頃は自治会の活動に深い、ご理解と、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。新年を迎え御挨拶申し上げます。

今年、令和二年^{かのね}庚子年です。令和になって初めての新年です。

今年、東京オリンピックが開催される予定です。中国で発症した新型コロナウイルス問題で大変なことになっています。

世界ではトランプ米大統領の再選問題、米中貿易戦争、TPPの条約不締結、イスラエル問題、日本では、円高の時代、原子力発電所問題、消費税のアップ、プラスチックゴミ問題等々、国、都は難問山積。

そんな中、岐阜市は、平成十九年

四月に住民自治基本条例を施行し、

市民と行政がこれを共有し、住民自治の充実を図り、市民が主権者である協働のまちづくり推進を目的に制定されました。この趣旨を踏まえて三里地域も『三里まちづくり協議会』を、設立させました。三里校区は児童数で市内、第一位の大きさです。

まだ増える傾向にあります。子ども達の為にも、安全・安心な地域をつくり、『笑顔であいさつ広がる輪』を、スローガンにふれあいの魅力ある三里のまちづくりの輪を、地域の皆さんと一緒に広げていきたいと思っております。ご参加くださいますようお願い申し上げます。

さて三里公民館が JA 三里支店跡に新築移転され、三十年四月に竣工式でした。

三里地域は、岐阜駅の加納と岐阜

西駅の市橋の間に位置し、どうも開発がばらばらな様に思います。しかし、県美術館・図書館・科学館が近くにあり、文化の中心とも、言えるわけがあります。

だからこそ地域の皆様が一丸となって、『三里のまちづくり』を推進しなければ、どんどん取り残されてしまいます。

個人の価値観の多様化、あるいは居住者の流動化が進む中、付き合いの希薄化が見られるようになってきました。

一方、防災・防犯をはじめ、地域の安心・安全を築くためには、皆が連携してお互いに支え助け合うことの重要性が、益々高まっています。

このような中、地域の皆さんには、お互いの協力によって地域の課題解決を図ろうとする自治会や各種団体などの活動に理解を深め参画することが求められます。

お互いが連携しながら、地域全体へと活動の輪を効果的に広げ、住民の参加を得ていききたいものです。

今年も、コミバスの本格運行が続いていますが、まだまだ、利用者が足りません。皆様のご利用をお願い致します。

皆様にとって、良い年になります。祈念し挨拶とさせていただきます。



歩け歩け大会
平成31年4月29日

